

一般質問



大田 直樹 議員

大田 議員
子育てをしながら働く親にとって、子どもの病気が心配の種である。子育て支援に積極的な町であるならば、病気になる時にも預かってもらえる病児保育の実施を是非とも検討してほしい。

子育て支援に病児保育を

実施は困難である

民生課

吉田 町長
広島県内の平成21年度の状況は、23市町中、13市町、30施設で病児保育を実施し、そのほとんどが小児科病院で実施している。利用率も5%と非常に少ない。今後さらなる社会保障関係経費の増加が見込まれる現下の財政状況では、病児保育の

議員
実施は困難である。
病後児保育やセンター型病児保育の実施を検討したか。

黒田 民生部長

病後児保育やセンター型病児保育のどちらもスペース的な問題や、看護師、保育士等の人的な事も必要となり、今の時点では困難である。

議員
せめて病後児保育だけでも実施できないか。

町長

本町は、社会保障経費特に医療費が県内でも一番高く、限られた財源の中で、検討しながら施策を展開している。財源には限りがあり、全てのこととはできない。財源確保についても考えながら、今後とも限られた財源の中で、何が一番必要か検討していきたい。



体調が悪い時はゆっくり休もうね



姫宮 五鈴 議員

姫宮 議員
若い女性の子宮頸がんが、新聞・テレビなどでしばしば報道され、大きな波紋を呼んでいる。この病気は、少女期に予防接種を受けることで、予防できると言われている。栃木県大田原市では、

子宮頸がんの予防接種実施を

町国や県の動向を注視していく

保険健康課

今年から小学6年生を対象に、公費負担の予防接種を始めた。
若い母性を健やかに守り育てることは、少子化対策の土台となるものと考えられる。
町としても積極的に検討してほしい。

吉田 町長

現在坂町では、『安心して出産や子育てのできる町』を目指して、妊婦検診や、子宮頸がん・乳がん検診など女性特有のがん検診を実施している。公費での予防接種実施は、社会保障関係経費の増加も見込まれ、単独町費での取り組みは、非常に困難な状況である。

議員

接種は3回必要とされているが、1回分1万5千円だけでも助成できないか。

信川 民生副部長

本来予防接種は、自治体間の差なく、予防接種法に位置づけて行うべきものと考えられる。今後も国や県の動向を注視し対応していく。



すくすく育って

一般質問



幸野 輝彦 議員

幸野 議員
29年連続で人口が減少している中で、坂町は子どもの増加率が全国9位で、これもひとえに子育て支援事業の取り組みの成果だと思ふ。
旧市街地では、道路事情の悪い場所に家を新築したり、空き家を購入したりし住んでいる若い世

危険な道路の対策を早急に

若い世代の期待に応えるよう実施する

産業建設課

代もいる。なかには家の前の道路横が2.2mの落差があり、子どもが転落する危険性がある。早急に調査し、善処願いたい。
吉田 町長
道路と民地との高低差が大きい箇所の対応は、各地区住民福祉協議会などからの要望を受け、現

議員

住宅用地はあるのに、途中の道路が狭く、車が入らないために活用されていない土地が多くある。近隣関係者の協力を得て、少しでも旧市街地

三登 建設部長

坂地区の道路整備やまちづくりは、住民福祉協議会の会長も参加している「坂地区まちづくり協議会」で種々計画の提案を受け、それに基づいて実施する予定。
今後も住民福祉協議会・地権者と協力し進めていきたい。

に定住できるよう道路整備をお願いする。



中 雅洋 議員

中 議員
発光ダイオード(LED)照明は、価格は高いが、電気代は半分以下、寿命が蛍光灯の3倍で、CO₂排出量も大幅に削減でき、環境への負荷抑制にもつながる。坂町の防犯灯1千800基あまりを、LED照明に切り替えるよ

防犯灯を発光ダイオード(LED)照明に切り替えを

町順次LED照明に切り替えていく

産業建設課

以前に設置の検討をしたが、器具本体が高価であったため、設置を見合わせた経緯がある。最近では、器具本体の価格が以前より安価になったこと、寿命が約

議員

6万時間と長くなり、球切れ交換などの修繕が減少すること、環境対策が図れることなどから、今後新たな設置時や老朽化した防犯灯の更新時には、LED照明に切り替えていく。

議員

LED照明に切り替えした場合の投資効果は。

三宅 産業建設課長

今年度から、年間50〜80基程度はLED照明に切り替えていく。
15年試算で、全てがLED照明に切り替わった場合、年間約200万円の投資効果が期待できる。



早くLED照明に切り替えを



高低差のある危険な道路